

孤独・孤立対策官民連携プラットフォーム 第4回シンポジウムの開催

(令和5年3月16日開催、Web会議形式での開催。事前登録者285名、視聴者数133名)

- ・官民連携プラットフォームでは、孤独・孤立対策に関する全国的な普及活動を行うためシンポジウムを開催。
- ・第4回は、分科会3の中間整理を報告するとともに、一元的な相談支援体制のあり方や、地域での「相談」と「支援」をつなぐための各主体の連携の姿等を、民間支援団体や有識者の様々な視点から議論するシンポジウムを開催。

孤独・孤立官民連携プラットフォームと分科会の紹介、重点計画の説明

報告者 内閣官房 孤独・孤立対策担当室

分科会3の紹介：現在の議論内容の報告

報告者 一般社団法人日本いのちの電話連盟 孤独・孤立相談プラットフォーム事務担当/小西慶直氏

概要 相談窓口体制や相談と支援をつなぐ体制の整備について検討。試行事業を実施し、ワンストップの総合的な相談支援体制構築の素地を構築。相談支援の実務的な相互連携に向けて、地方における官民連携プラットフォームにおける社会資源情報の整理・共有等が求められる。今後は相談と支援をつなぐ連携等の検討や本格実施に向けた環境整備に取り組む。

自治体独自の相談窓口事例報告

報告者 鳥取県福祉保健部 ささえあい福祉局福祉保健課 地域福祉推進室 課長補佐/中村礼氏

概要 鳥取県の孤独・孤立対策の主な取組状況と「生活困りごと相談窓口」の設置について報告。「生活困りごと相談窓口」を孤独・孤立に関する相談も受け付ける窓口に拡充。相談窓口を通じて、必要に応じて要支援者をプラットフォーム構成機関や適切な相談窓口につなぐ役割が期待されている。その他、HP等を活用し、当事者への情報の周知に取り組んでいる。

パネルディスカッション

効果的な相談窓口体制整備と望まれる連携の在り方

モデレーター

内閣官房 孤独・孤立対策担当室 政策参与/大西連氏

パネリスト

- ・社会福祉法人全国社会福祉協議会 地域福祉部長/全国ボランティア・市民活動振興センター長/高橋良太氏
- ・社会福祉法人豊中市社会福祉協議会 事務局長/勝部麗子氏
- ・一般社団法人社会的包摂サポートセンター(よりそいホットライン) 事務局長/遠藤智子氏
- ・早稲田大学理事・法学学術院 教授/菊池馨実氏

- 効果的な相談窓口体制整備の在り方について議論。地域内でのつながりを活かした対応と、匿名性担保のため等の広域での対応に加えて、デジタルツールの活用も求められる。広域対応では重層的なプラットフォームを念頭に置くことも一案。
- 望まれる連携の在り方について議論。分野・地域・官民/民等多様な連携の姿がある。上下関係のない連携の在り方や取組評価方法も検討する必要がある。また、孤独・孤立対策として多様な主体との連携の可能性を探っていくことが望まれる。